



次期佐世保市環境教育等推進行動計画について



1. 佐世保市環境教育等推進行動計画の改定について

- 「第2次佐世保市環境教育等推進行動計画」は、本市の環境行政のマスタープランである「佐世保市環境基本計画」の中間見直し時期である令和4年度を計画の終期としている。
- 次期行動計画は、環境分野に係る施策の整合性を図ることを目的に「環境基本計画」と統合を行う。

2. 現計画の概要

1 | 計画の目的等 ⇒ P2～

- 環境教育等促進法に基づく佐世保市の「行動計画」
- “環境市民”を育成し、環境基本計画に掲げる望ましい環境像「自然と共に生きるまち させぼ」を未来の子どもたちに受け継いでいくための部門別計画としても位置付ける。

計画期間 | 令和元年度～令和4年度
目標年度 | 令和4年度

2 | 前計画の課題 ⇒ P8～

- 講座等の事前準備や講師の人手不足などの課題。
- 現在、関わりが少ない大学生などの若者世代が参加できるような仕組みづくり。
- 積極的に情報発信し、地域の現状についての理解を深めることが必要。
- 独自に活動を行っている団体とのネットワークづくりや、活動支援、協働、連携して環境教育保全活動に取り組める仕組みづくりが重要。

3 | 本計画の目指すべき姿 ⇒ P14～

- 前計画の取り組みを基本的に踏襲しつつ、国や県の動向、佐世保ならではの取り組みを踏まえながら
- 佐世保市環境基本計画の重点プロジェクト「環境教育の推進」を中心に総合的な環境教育を推進し、環境市民を育成する。

4 | 具体的な施策展開 ⇒ P23～

“環境市民”を育成し、「自然と共に生きるまち させぼ」の実現に向け3つの柱を中心として事業を推進。

(1) 環境教育プログラムの実施

- ① 年代やテーマに応じた環境関連講座等の開催

(2) 地域における環境教育の充実

- ① 市民や市民団体、事業者等に対し講師の派遣
- ② 地域資源(人材や自然環境など)を活用した環境教育の展開
- ③ 実践活動の機会創出、環境保全活動支援
- ④ 拠点機能の充実

(3) 学校等における環境教育の充実

- ① 発達段階に応じた環境教育の実施

前計画の課題の解決

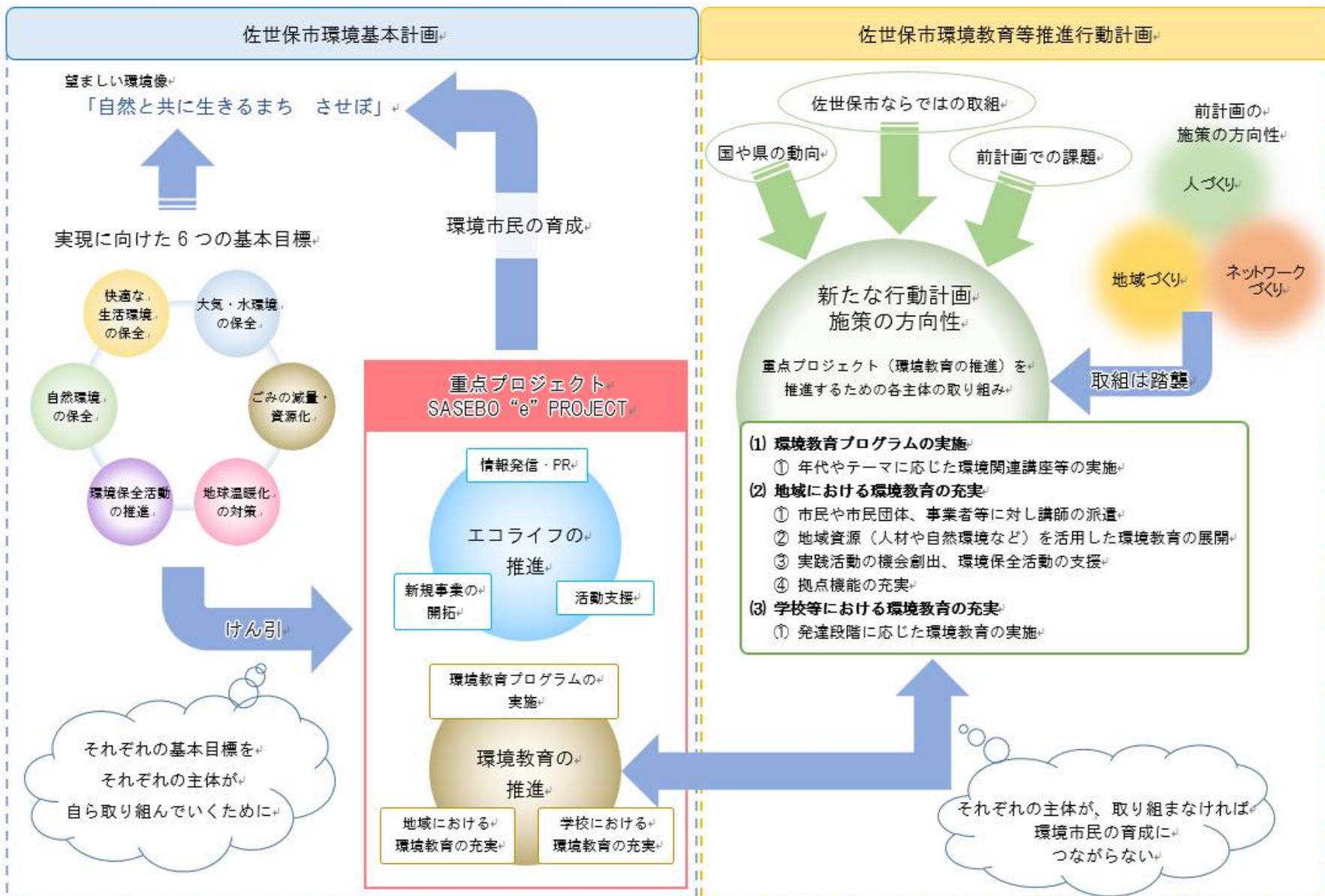
- 人手不足
人材や、環境保全活動を行っている市民団体等が活動・活躍できる場や機会を提供。
- 若者世代の参加
大学との連携
- 情報発信、ネットワークづくり
拠点機能(させぼエコプラザ)の充実

新たな取り組み

- 地域資源を活用した環境教育の展開
本市ならではの九十九島の自然豊かなフィールドを活用した自然体験会の開催(九十九島ビジターセンターとの連携)
- 行政も一事業者として率先しての行動
職員向けの環境教育(自然観察会など)



2. 現計画の概要





3. 計画改定の基本的な考え方

1)環境基本計画に統合を行い、環境教育を環境基本計画の基本目標の一つの柱に位置付けることで、環境分野に係る施策の整合性を図る。そして、環境教育施策の充実を図ることで、本市の望ましい環境像である「自然と共に生きるまち させぼ」を官民協働で目指す。

2)計画期間 2023年度(令和5年度)～2027年度(令和9年度)

3)環境政策審議会と環境教育等推進協議会の統合・再編を行う。

4)検討項目

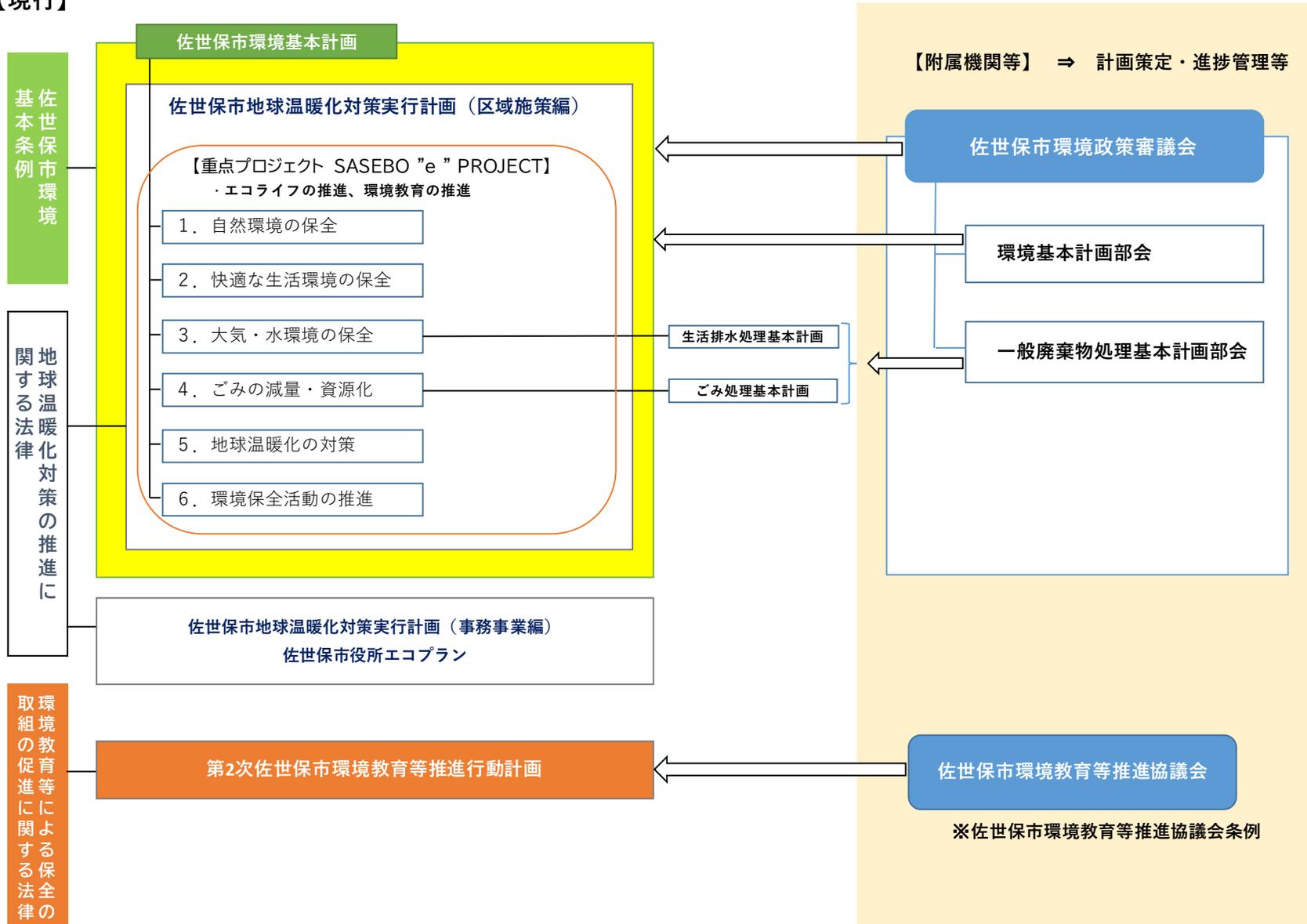
- 現計画の評価、課題抽出
- 取り組みの方向性・施策体系
- 取組内容、成果目標・取組目標
- 環境政策審議会・環境教育等推進協議会の統合・再編(新たな部会設置)

※環境基本計画の中間見直しは、令和3年度から2年間かけて予定しており、本協議会及び環境政策審議会において、改定内容の事務局案をお示ししながら委員の皆様のご意見を反映させていただきます。



4. 体系整理について

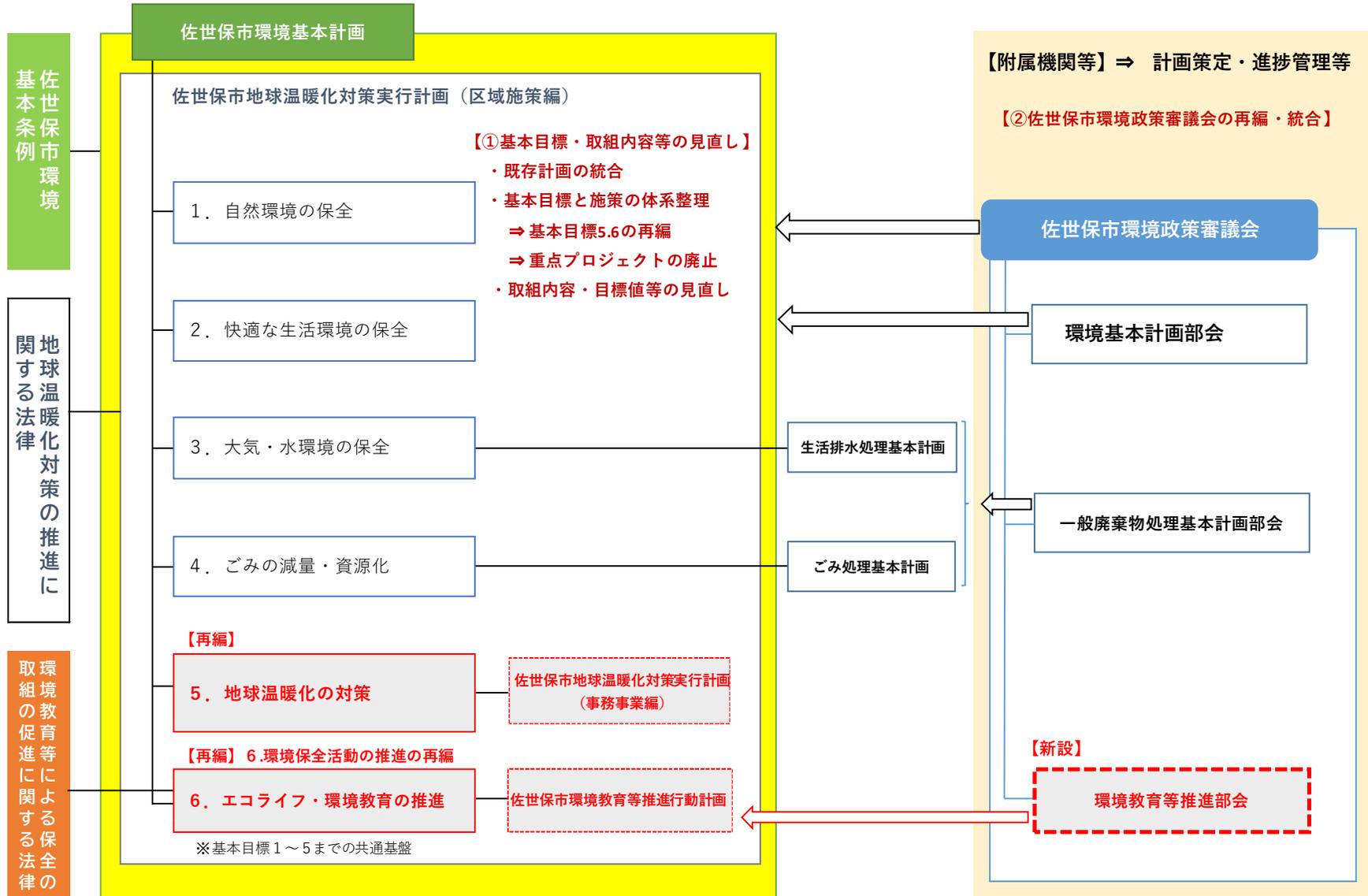
【現行】





4. 体系整理について

【変更案】





5. スケジュールについて

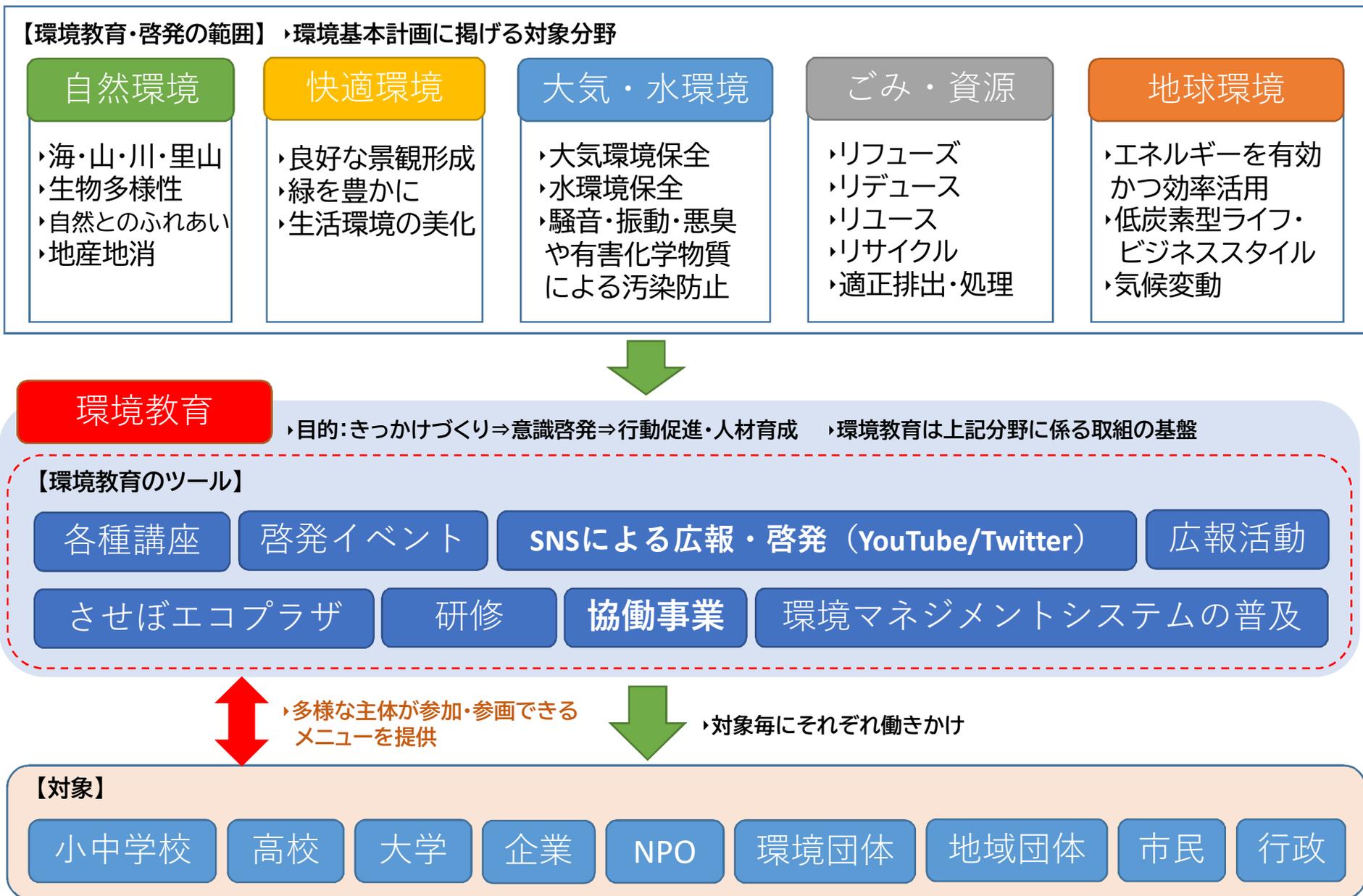
項目	令和3年度												令和4年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1) 改定方針・審議会設置	■																							
2) 業者選定																								
① 選定審議委員会委員調整	—																							
② 選定委員会設置		◆																						
③ 公募資料作成	—																							
④ 第1回選定審議会(審査基準…)		○																						
⑤ 事業者公募			—																					
⑥ 書類審査				—																				
⑦ 第2回選定委員会(提案書審査)					○																			
⑧ 契約				◎																				
3) 改定作業	完了																							
① 環境基本計画	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>2050年脱炭素化に向けた方向性検討</p> <p>各種分析 現計画の評価</p> <p>基本目標再編、取組の方向、施策体系整理</p> <p>審議会(諮問) 部会</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>市民・事業者アンケート 温室効果ガス算定</p> <p>集計分析 将来推計・削減目標</p> <p>素案検討(取組、指標・目標値等)</p> <p>庁内調整期間</p> <p>庁内報告 ※基本計画の方向性・構成</p> <p>R02年度報告書作成</p> <p>R03年度報告書作成</p> <p>附属機関の再編検討</p> <p>審議会 部会</p> </div> </div> <p>修正期間</p> <p>庁内報告 パブコメ</p> <p>議会報告</p> <p>印刷・製本</p> <p>照会 集約</p> <p>照会 公表</p> <p>照会 集約</p> <p>照会 公表</p>																							
② 環境教育等推進行動計画部分	<p>R02実績評価</p> <p>R03実績評価</p> <p>取組の方向性・施策体系</p> <p>取組・指標・目標値等</p> <p>附属機関の統合・再編検討</p> <p>協議会</p> <p>協議会</p> <p>協議会</p> <p>協議会</p> <p>R05実施計画</p> <p>協議会条例廃止</p>																							
③ エコプラン部分	<p>R02実績評価</p> <p>R03実績評価</p> <p>各種分析</p> <p>取組の方向性・施策体系</p> <p>取組・指標・目標値等、運用マニュアル作成</p> <p>現状、将来推計、削減目標</p> <p>課長会 部長会</p> <p>課長会 部長会</p>																							



6. 現計画における課題について

現計画の課題	課題に対する事務局の考え方
<p>○環境教育提供主体の増加に向けた、多様な主体との協働関係を構築する仕組みづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「環境アドバイザー」「環境保全団体」の登録件数は目標は達成しているが伸び悩んでいる。 	<p>○昨年度より、他の主体との協働事業を実施。 (内容については、参考資料P11～P15参照)</p> <p>○今後も行政からの働きかけや相手側からの要請に基づき、協働メニューを増やしていくことで、環境教育提供主体の増加に繋げる。</p>
<p>○SNSを活用した効果的な環境教育ツールの提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・YouTube「させぼエコチャンネル」の効果的な活用方法について。 	<p>○各団体の環境活動を取材し、動画による情報発信を積極的に推進する。</p> <p>○また、チャンネル視聴者の増加に向けたPRや新しい動画コンテンツを週1回程度制作し配信する。</p>
<p>○事業者向けの環境啓発について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者向け環境マネジメントシステム(EMS)の普及が進んでいない。 ・また、他の啓発を実施できていない。 	<p>○他都市の事例調査を行い、環境マネジメントシステム(EMS)取得によるインセンティブや他の啓発手法について検討を行う。</p>
<p>○エコプラザのあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症の影響によるエコプラザ利用者数の大幅減少に伴い、施設による集客型の環境教育の提供が難しくなっている。 	<p>○エコプラザ機能のあり方について検討を行う。 ※現施設は廃止とし、環境センターを拠点に新たな環境教育提供機能(エコプラザ機能の一部含む)を構築できないか検討を行う。</p>

【参考資料】新たな環境教育の取組について

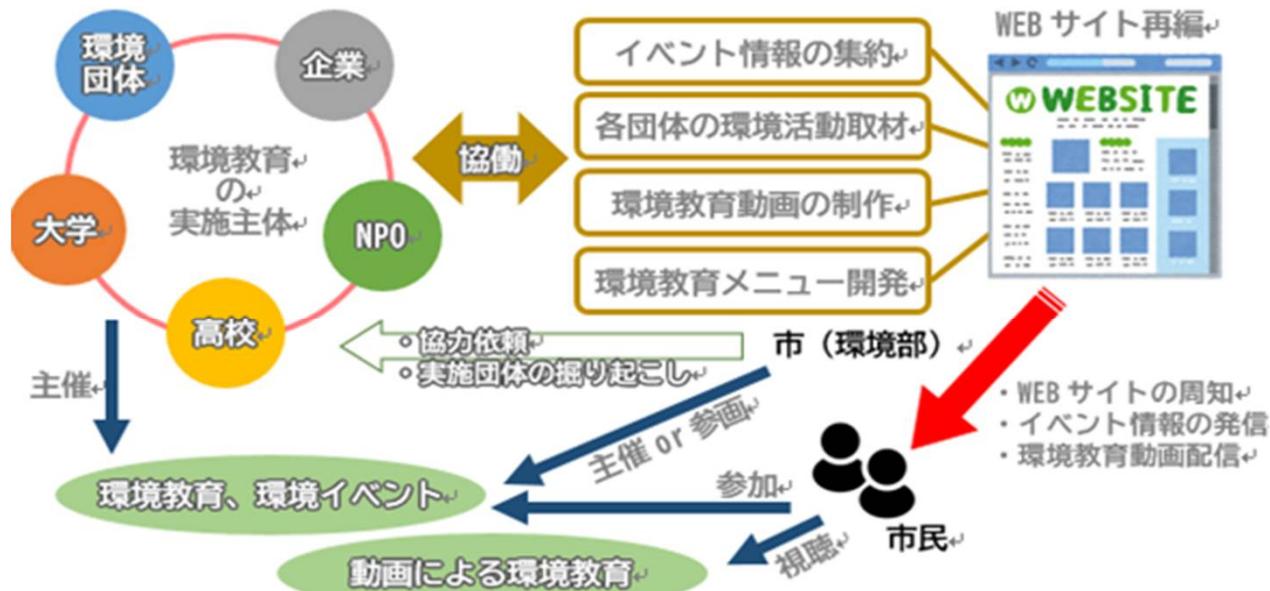


令和3年度 広報戦略について



○複雑多様化する環境問題について、市・事業者・NPO・大学・市民団体等の多様な主体が市域で実践している環境活動や取り組みをもとに動画やSNSを活用して市民に分かりやすく広報・啓発を行うことで、市民の環境学習機会の創出に努める。

・市民・市民団体・事業者・大学等の多様な主体との協働による環境教育の推進（令和3年度実施事業）



◎市民の環境教育機会の創出に向けて、「活動の場を増やす」・「いつでもどこでも学べる環境の整備」に取り組む。

【多様な主体による環境教育機会の提供】

- 高校・大学・企業・環境団体・NPO等との協働体制構築・環境教育の実践
 - ・各団体への協力依頼、新たな実施主体の掘り起こし
 - ・環境教育メニュー開発・実践
 - ・環境教育実践機会の提供

【いつでもどこでも環境教育を受けられる環境整備】

- 環境教育情報発信サイトの整備
 - ・WEBサイトの再編
- 環境教育実施団体の活動情報一元化
 - ・イベント情報集約
 - ・各団体の環境活動取材・情報発信
- 環境教育動画の制作
 - ・年間60本程度を配信予定

YouTube「させばエコチャンネル」を開設しました！！

複雑多様化する環境問題について、市民の皆さんに分かりやすく広報・啓発を行うことを目的に、YouTube「させばエコチャンネル」を開設しました。ごみ問題、地球温暖化対策、自然環境などの環境を守る取り組みや様々な情報を動画で発信していきますので、チャンネル登録をよろしくお願いします。



【発信情報の一例】



○九十九島VC「トビカズラウォーク」紹介

○ごみの分別のポイント



【目的】

6月の環境月間に合わせて、させぼ四ヶ町商店街アーケードを活用した県・市・環境団体等との合同による環境啓発に係る街頭キャンペーン開催により、住民の環境問題に対する理解と関心を深め、環境保全活動への取り組みを促進する。

【イベント】

エコラボ2021 in Sasebo 『エコ (eco) × コラボ (collaboration) × ラボ (laboratory) 』

テーマは「つなぐ」

- ・みんなを環境と「つなぐ」きっかけ
- ・みんなとみんなを「つなぐ」きっかけ
- ・SDGsの達成へ「つなぐ」きっかけ



【イベント概要】

- 日程：2021年6月26日（土）12:00～15:30
- 場所：させぼ四ヶ町商店街（アーケード内）
- 内容：各団体による体験コーナー・パネル展示
SDGs スタンプラリー（エコグッズをプレゼント）
- 主催：長崎県、佐世保市
- 協力：させぼ四ヶ町商店街協同組合
- 参加費：無料



No.	出展団体名	出展内容
1	九十九島水族館海きらら	●出張!! こどもひろば あまもば ●海きららPR（パネル展示）
2	西海国立公園九十九島ビジターセンター	●九十九島クイズ～目指せ九十九島博士!～ ●パネル展示
3	(株)FMさせぼ	●エコドライブ体験
4	NPO 法人 ひらど海てらす	●海のゴミは誰のもの?（パネル展示） ●自分だけのオリジナルトングを作ろう! ゴミを拾おう!
5	長崎県立佐世保青少年の天地	●山の工作教室 ●山に投棄されたごみ、クイズ、青少年の天地の主催事業やできる活動のパネル展示
6	NPO法人 大地といのちの会	●リサイクル野菜づくり（パネル展示）
7	佐世保市少年科学館「星きらり」	●ペットボトルキャップで顕微鏡を作ろう ●少年科学館のPR（パネル展示）
8	佐世保市廃棄物減量推進課	●させぼフードドライブ
9	プロジェクトワイルド長崎県・佐世保市環境政策課	●あつまれエコキッズ ●エコライブに関するパネル展示 ●ダストン君との写真撮影…
10	長崎県県民生活環境課	●事務局（全体調整、エコグッズ交換…） ●環境パネル展示…

地球温暖化対策事業「街あるき温暖化教室：図書館との連携」



【概要】

- ①“環境”に関する自由研究について、本（ジャンル）の活用方法、佐世保での実地調査方法等を動画で紹介
- ②図書館児童コーナーで展開する標記コンクール募集ブースや各テーマ棚で広報



【目的】

- 図書館：第5回佐世保市「図書館を使った調べる学習コンクール」への応募促進（きっかけづくり等）
- 環境部：“いつでもどこでも環境教育を受けられる環境”整備・“させぼエコチャンネル”の広報機会 ※図書館利用・実地調査等が“街あるき”となり企画趣旨と合致
⇒コンクールの目的「『調べる力』を育てる」とSASEBO“e”PROJECTの目的「自ら行動する“環境市民”育成」が近いコンセプト、相乗効果を見込

【動画内容（案）】

	循環型社会	自然環境	温暖化	環境教育
全学年	ごみの種類 リサイクル [実験] 牛乳パックから再生紙	生き物観察のポイント	[実験] 太陽のエネルギー	[実験] 葉っぱスタンプ
低学年				
高学年		絶滅危惧種		



児童室入口 特集コーナー



棚テーマ：環境問題、リサイクル

環境教育イベント！！ NISSAN わくわくエコスクール



※本事業は、「第2次佐世保市環境教育等推進行動計画」に基づく環境教育プログラムとして実施

【目的】

- 世界的な脱炭素化の潮流のなか、実践的な環境教育プログラムを提供することで、将来を担う小学生の環境意識向上を図る。
- また、電気自動車の普及促進などの家庭向け地球温暖化の取組をPRすることで、市民のエコライフ実践の契機とする。

【概要】

- 夏休み特別企画として、小学生を対象に「NISSAN わくわくエコスクール」を開催。
- 地域電力会社である、(株)西九州させぼパワーズの取組をPR
- 市環境部の地球温暖化対策の取組のPRや相談窓口を設置。



【プログラム】

- エコな電気自動車のしくみを学ぼう！（リーフによる外部給電器を活用したデモンストレーション）
- モデルカーを作って実験しよう！



出典：わくわくエコスクール（NISSANホームページ）

◇日時・場所：2021.8.22（日）・佐世保市環境センター

主催 | 佐世保市 協力 | 日産自動車株式会社、長崎日産自動車株式会社、日産プリンス長崎販売株式会社、株式会社西九州させぼパワーズ

不用品の価値創造リユースモデル事業「佐世保ヴィンテージ」(案)



※本事業は、「第2次佐世保市環境教育等推進行動計画」に基づく環境教育プログラムとして実施

[長崎県立大学・協力企業・佐世保市による三者協働モデル]

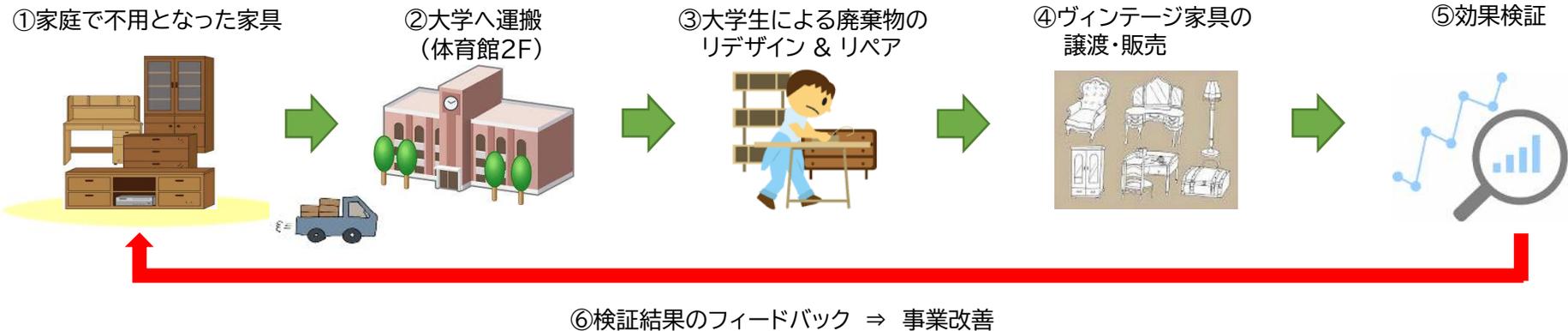
【概要】

- 家具修理等専門家の指導のもと、大学生による不用品のリデザイン & リペア
- 生まれ変わったヴィンテージ家具を譲渡・販売(※当面は譲渡のみ)
- 効果検証
 - ・環境負荷低減数値の算出
 - ・事業化に向けた課題整理(事業継続性、B/C、事業効果…)

【事業効果】

- 市民協働による環境意識の向上
- 環境負荷低減、SDGs貢献
- リユース文化の定着
- リユース技術の習得
- 実践的課題解決への参画 など

【事業スキーム】



【各主体の役割】

県立大学	協力企業	佐世保市
○不用品の運搬 (指定場所から)	○学生の技術指導	○不用品の提供
○事業内容検討		○事業サポート (講師派遣…)
○事業実施		○効果検証
○効果検証		○リユース広報啓発

【事業スケジュール】

※下表の工程で1サイクル(年間1~2サイクルを想定)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
事前協議	●							
事業内容検討		■						
不用品運搬			●					
リデザイン&リペア			■	■	■			
譲渡・販売						■	■	
効果検証						■	■	
報告会								●

ビオトープを活用した環境教育の推進(江迎小学校)



※本事業は、「第2次佐世保市環境教育等推進行動計画」に基づく環境教育プログラムとして実施

[江迎小学校・環境アドバイザー・佐世保市による三者協働事業]

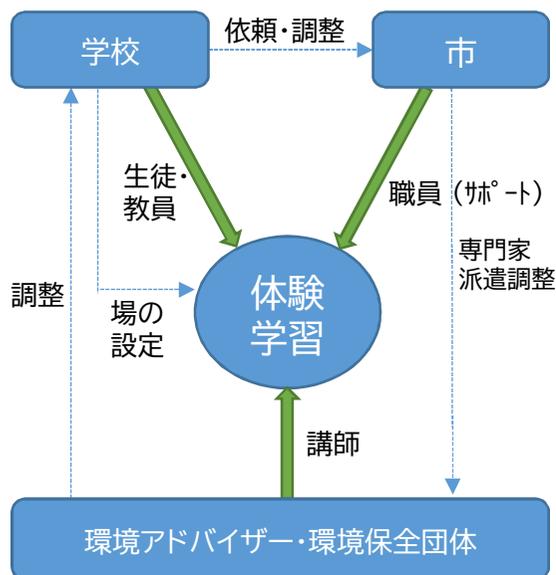
【概要】

- 小学校の総合学習の時間を活用した、学校敷地内へのビオトープ整備支援
 - ・対象:江迎小学校5年生(26名)
 - ・内容:体験学習全3回(生き物に関する授業、ビオトープ整備、観察会・報告会)

【事業効果】

- 市民協働による環境意識の向上
- 小学生の体験型環境学習機会の創出
- 自然環境保全に寄与 など

【スキーム】



【体験学習の様子】

①生き物に関する授業

- 時期:令和2年11月24日(火) 14:00~14:40
- 場所:江迎小学校教室
- 内容:環境アドバイザー中原氏(西部環境調査(株))による生き物に関する授業



②ビオトープ整備

- 時期:令和2年11月24日(火) 14:50~15:30
- 場所:江迎小ビオトープ
- 内容:ビオトープ整備



③ビオトープ・かれい川観察会及び報告会

- 時期:令和3年3月9日(火) 13:45~15:40
- 場所:江迎小学校敷地内ビオトープ、嘉例川(同小学校裏の川)
- 内容:生徒によるパワーポイントを使用した調査研究結果の発表
 - 1) かれい川水質調査の報告
 - ・川に生息する動植物の種類及び生息場所を調査し、初めて見る生物が確認された。
 - ・調査キットを使用(保全課による指導)した水質調査により、きれいな水質であった。
 - 2) ビオトープ整備の経過報告
 - ・ビオトープ設置開始時に放った動植物の生育状況。
 - ・捕獲した場所の環境と似せることで生育環境を維持させた。



【今後の展開】

- 利用していないビオトープが2槽あるため、新5年生を対象に新たにビオトープを整備させる。
- 学校周辺やビオトープで観察できる生き物について、年間カレンダーを作成して記録を行う(植物の開花、生物の成長過程…)。



【概要】

- 佐世保西高では、生徒全員が地域課題の探求に取り組む「ふるさと創生大作戦」を実施
- 「佐世保の豊かな自然環境を守る」視点で、環境問題をテーマに探求するグループの募集と調査分析等に係る支援に取り組む

◎期待される成果

- ・高校生が、小中学校等での環境教育の講師を務める「環境啓発の実施者」として、また、「自らが環境保全活動」或いは「エコライフの実践者」となることを目指す。

○ ふるさと創生大作戦とは？

- ・ 生徒全員が、3年かけて地域課題の探求に取り組む「問題発見・解決プログラム」
- ・ 5～6名程度のグループに分かれ、自らテーマ設定やフィールドワーク等の調査分析を実施
- ・ その成果について、校内発表会、地方創生政策アイデアコンテスト（内閣府）への応募、市役所等で発表会を実施

※本事業は、「第2次佐世保市環境教育等推進行動計画」に基づく環境教育プログラムとして実施

【スキーム】

